

令和4年度 第2回 大野市総合計画・総合戦略推進会議 議事メモ

日時：8月8日(月) 10時～10時50分

場所：結とぴあ 305・306号室(3階)

○委員：計16名(全21名中)

○市：行政経営部長、政策推進課長、政策推進課職員3名 計5名

1 開会

事務局より開会

2 会長あいさつ

- ・ 先週、南越前町をはじめ、県内各所で豪雨被害に見舞われた。改めて、災害に対する自助、共助の必要性を感じた。災害の備えには、地域コミュニティが大事である。
- ・ 災害を含め、自治体だけに助けを求める時代は終わったと感じている。官も民も一体となって物事を進めていく時代になっている。
- ・ 総合計画の施策を前に進めていくため、忌憚のないご意見をいただきたい。

3 議事

(1) 第六次大野市総合計画評価報告書(案)について・・・**別添**

(事務局説明の概要)

- ・ 皆様には、前回会議の後、市の内部評価を踏まえて、外部評価を行っていただいた。内部と外部の評価に相違があった場合、推進会議会長と施策評価アドバイザーの意見を参考にして総合評価を決定した。
- ・ その結果、全24項目あるなかで、内部評価Cから総合評価Bとなったスポーツの項目以外は、内部評価と同じ評価となった。
- ・ 評価報告書(案)の62～69ページには、第六次大野市総合計画のうち、人口減少対策に特化した施策をまとめた計画である「第2期大野市総合戦略」の視点からの施策の実施状況を掲載した。取り組みやKPIは総合計画からの転記となる。
- ・ 本会議での意見を踏まえ、最終的な評価報告書を、9月に市のホームページに公開する。

(質疑応答)

○国民健康保険税額の引き上げについて

委員：項目24の「行財政」について、施策24-1の上から4ポツ目、「国民健康保険については、健全財政維持のため、令和4年度からの保険税額を引き上げる改定を行った。」という記載がある。個人的には、急に税額の引き上げを知らされて、事前の案内や広報が足りなかったように感じるが、その点を評価に反映しないのか。

事務局：国民健康保険税の改定については、以前から、県下市町が足並みを揃えて進めて

きたことであり、大野市においても市議会で議論をしてきた。当初は令和2年度に改定する予定であったが、コロナを受けて各世帯の経済面での負担を考慮して、1年先延ばしにして令和3年度に改定したという経緯があり、何とぞご理解いただきたい。

会 長：県単位で進めてきて、大野市だけで改定の可否を決定できるものではないので、評価への反映は難しいと考える。評価をした委員は全員A評価を付けており、ご理解いただいているものと受け止めている。

○項目10「働く環境」について

会 長：項目10の「働く環境」について、全国的に企業立地は減っており、2～3つの市区町村で1つの企業立地があれば良いというような状況の中で、株式会社モンベルを誘致できたことは素直に評価できる。外部評価の内訳では、Bが4人、Cが3人と分かれており、相対立しているように見えるが、私はB評価としている。一方で、こういう会社があるんだよというようなPRが必要で、例えば、企業マップなどで情報発信をすることで、若者の雇用につながると考える。

○その他

会 長：本日の会議終了後に、気づいた意見等は事務局に報告すればよろしいか。

事務局：意見は受け付ける。その後、市内部の最終確認、市議会への説明を経て、9月にホームページに公開する。

(2) その他

・ 専門部会「移住定住部会」について・・・資料1

事務局から、資料1に基づき「移住定住部会」の開催日程及び構成員について説明

・ 今後のスケジュールについて・・・資料2

事務局から、資料2に基づき、推進会議の今後のスケジュールについて説明。10月の第3回会議では、移住定住部会での検討内容や本年度4～9月の総合計画の取り組み状況を報告する。

4 閉会

(副会長より閉会)

- ・ 第六次大野市総合計画の将来像である「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」に向けて、官民が一体となって取り組んでいくことが必要であり、私たち委員の役割は大きいと感じている。評価報告書において、様々なご意見をいただいたことに感謝申し上げます。

>> 終了